

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ココル		2026年 3月 1日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	のびのび活動ができるよう小学部と中高等部で活動の場所を変えた	利用人数の増加（特に中高生が多くなったこと）により、スペースが狭く感じる時がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	担当者を決めて支援を行っている	職員数は満たしているが、一人一人のスキルに差が出てきている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	その都度話し合い、子供たちが使いやすい環境づくりをしている 玄関の段差を緩やかにした	適切に配慮出来ていると思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日、掃除と消毒を行っている	感染症予防のため、空気清浄機や加湿器の使用も考えるべき
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別スペースの確保が難しいので時間で分けるなどしている	現在個別の部屋を準備中
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	支援計画を全員で確認し、会議の時間を確保している 頻繁には出来ないので回覧出来るようにしている	参画出来ない職員もいる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	必ず行っている	評価表を基に改善点を出し実際業務改善を行った
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	パート会議や個別面談、職員会議を実施しており、ミーティングでも情報共有できている	面談や会議で出た課題に迅速に対応している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	外部評価を行っていない	必要に応じて対応したい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	毎月社内研修があり、自分のやりたい研修もできた	研修の場を紹介しても、参加する職員に偏りがある
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページで公表している。面談時に提示している	全員がホームページを見るわけではない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	担当者だけでなく学部内で相談して計画作成につなげている	支援計画の作成に個人差が出ている。時間の確保が課題。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	支援会議で相談して計画している	意見を出す職員が偏っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	支援会議の内容を回覧し、みんなに周知している	周知されていない場合がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	責任者と子供の姿を確認し合うように努めている	アセスメントツールが定着してきている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインの読み合わせを定期的に行っている	利用者により利用日数に差があるので適切な設定が難しい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		マネージャーが立案し、サポーターと話し合いながら進めることができている	主な立案者が決まっているので、みんなで協力できるようにしたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		季節にあったものや興味のあるもの等をたくさん取り入れ、状況に応じて対応している	利用日が少ない場合の活動プログラム設定が難しいと感じる

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子供の状況に応じて対応している	子供の状況に臨機応変に対応できない職員もいる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	ミーティングでも情報共有できている	打合せの内容が理解できていない場合がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	現実的に難しい。正職間では行っている	その日は難しいので、気づいた時や後日話すようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	記録する時間を確保できるようにしている	記録の取り方に個人差がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にモニタリングを行い見直しを行っている	通所回数により適切なモニタリング期間が代わってもいいと思う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	「地域交流」が課題だったが、今年度はいろいろ交流が出来た	余暇を広げたいが広げられない利用者がある
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	発言がない児童に個人PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を持ってもらった	利用回数が少ない利用者は間隔が空いてしまう
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	必要に応じて参画している	パート職員の時間のやりくりが困難
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	保護者や相談員を介して連携を図っている	学校とは連携が取れているが医療は間接的にしかできていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	必要な子に関しては、学校と情報共有している	円滑にできていると思う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	児童発達支援事業所から申し送りがある	必要に応じて認定こども園と情報共有したい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じて提供している	適切に情報共有できている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	相談員を通じて行っている	研修を受ける職員に偏りがある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	児童クラブや児童館との交流は現実的には難しい 職場体験の中学生と交流できた	会社経営のカフェが隣に出来たので交流の場を作れるように準備中
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	定期的に参加している	事業所間での情報共有ができるようになった
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時やお迎え時に、その日の様子をお伝えしたり、家での様子を聞いたりしている	職員間で差がある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	身近な内容のペアレントトレーニングを行った	得た情報は、お便りを出して共有している
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時や面談時に必要に応じて行っている	施設にファイルを用意していつでも見れるようにしている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリング、アセスメントを定期的に行っている	こどもの意向の真意の確認が難しい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	同意後サインを頂いている	引き続き支援内容に疑問点がないか確認して同意を頂くようにしたい
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	必要に応じて児童発達管理責任者が面談等を行っている	気軽に相談していただけるような環境づくりに努めたい

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	1	保護者参加型の行事が3回あり、年々参加数が増えている嬉しい	土曜日のイベント時などに、保護者会を開いてみてはどうか
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	保護者の要望に迅速に対応できた	苦情は現在まで出たことはないが、小さなことでも直ぐに対応できるように心がけている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HPで日々の活動の様子を発信している事をお伝えしている	facebookだけなので見る人が限定している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	研修時に確認している	新しい職員にも周知が必要
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	お迎え時に、家での様子を聞いたりしている	配慮をしているつもりにならないよう職員間での共通理解、共通対応を心がけている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	現状難しい	現在は行っていないが、会社運営のカフェが出来たので計画したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に訓練を行っている	策定しているが伝わっていないので周知してもらえようお便りを出したい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	定期的に訓練を行っている	家族への周知を図りたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	みんなに周知している	発作時の対応に不安がある
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	保護者の申告により対応	特に医師からの指示書はないので保護者に確認して対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	定期的に研修や訓練を行っている	研修や訓練を行っていてもヒヤリハットの場合があるのでさらに気を付けたい
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	お便りでお知らせしている	周知が全家族には行き届いていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	日々の療育の中で「ヒヤリハットを書いた方が良い場面」を伝え、研修を行っている	各回数を増やし安全管理に努めた
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に研修を行っている	研修の出席者が同じなので研修がマンネリ化しないようにしたい
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	2	現在該当者がいない	身体拘束について理解していない職員がいる	